

第40回日本口腔インプラント学会

ケースプレゼンテーション試験を受験して

基本的知識と基本に忠実な治療内容

日時：平成22年9月17日(金)

場所：札幌市産業振興センター

中川 威彦 (東京都)



平成22年9月17日(金)から19日(日)まで、札幌におきまして第40回日本口腔インプラント学会・学術大会が開催されました。私自身6回目の学会参加となりましたが、今回は1日目のケースプレゼンテーション試験を受験しました。以下その報告をしたいと思います。

まずは、受験対策として3月末にCISJで予演会をしていただきました。自分にとっては、これが非常に参考となりました。本番に近い形で行いましたが、井汲会長をはじめ多くの先生方にアドバイスをいただき本番当日安心して受験できました。多くの研究会の中でもここまで御指導をいただけるのはCISJだけかと思っております。今後受験される先生は、予演会に出席することは必須ではないでしょうか。

さて、本番当日ですが、受付が朝8時という事で早いため遅刻厳禁です。遅刻したら受験できません。こういう基本的なことは厳しいようです。試験順は、当日発表ですが、春の試験申し込みの順番だそうです。順番が遅いと非常に時間が空いてしまうため早めに申し込み、早い時



間での受験が得策です。

試験は、2名の試験官の前で10分の発表、10分の質疑応答です。この試験は、基本的なことを見るものなのでなるべくシンプルな症例がいいようです。質疑自体も基本的なことで、ベーシックな知識と基本に忠実な治療内容であれば問題ないと思われます。10分の質疑ではありますが、あっという間に終わりという感じです。一番大事なのは、提出資料です。レントゲン、口腔内写真、指定された状態であるか精査しているように見受けました。実際ここが合否のポイントのようでもあります。

当日受験した他の先生方の話を聞いても、特に厳しい質問はなかったようで基本的な質問が多かったようです。しかし、逆に言えばしっかりとした基本的な知識が大切だと思います。普段から知識吸収とCISJ定例会などの研修が大切ではないかと思えます。

合格通知は、1ヶ月ほどできました。これも御指導いただいたCISJの先輩先生方のおかげです。この場をかりて御礼申し上げます。

